校長通信 2021 年度 第9号 12月 22日 (水)



<あなたの今年の漢字は>

2021年も残すところ10日を切りました。温暖化の影響なのでしょうか、平年より何となく穏やかな日々が続いている気がしていましたが、ここ最近冷え込みが厳しくなってきています。何とか昨年のような大雪にならずに穏やかな年末年始を迎えられますように。

新型コロナウイルスも岩手県ではここ1か月感染者が出ていない状況が続いています。それでも新変異株オミクロン株による感染拡大が世界各地で伝えられています。けっして楽観できない状況には変わりないようです。残念ながらマスク生活はまだまだ続きそうです。

そして恒例の今年の漢字に選ばれたのは、「金」でした。 選ばれた理由は、東京オリンピック・パラリンピックで 日本人選手が金メダルを過去最多の数を獲得したことな どがあげられています。

本校でも野球の甲子園出場、柔道 部の選手権3連覇、陸上の市内一周 継走初優勝などの「金」がありました。部活動だけではなく、それぞれ の生徒が個人的に頑張ったこと、成 果を挙げたことなど、振り返ってみ てはいかがでしょうか。

<革命~No limit~>

12月7日の全校礼拝後に、生徒集会が行われ、新執行部より新しい生徒会スローガンが発表されました。以下は新スローガンへの想いです。

「革命」とは、政治・経済・社会全体を根本的に変革する こと、または物事が急激に発展、変革することを指しま す。私たち生徒会執行部が掲げるスローガン「革命」に込 めた思いは3つあります。1つ目は、生徒が自ら行動し、 生徒が創る学校を目指すこと、2 つ目は新しいことに挑 戦していくこと、3 つ目は課題を見つめ直し改善してい くことです。サブテーマの「No limit」には「限界はない」 という意味があります。限界を決めないことで自分自身 の可能性を広げていくことを目指して付けました。今年 度は甲子園出場を果たした野球部、大きく結果を残した 柔道部、陸上部、サッカー部など部活動において大きな 躍進だったと感じています。またコロナ禍での文化祭や 体育祭の充実化など、新たな変化を見せることができま した。前のスローガンである「虹~make you happy ~」を通して生徒一人一人の大きな輝きや成長を実感で きた1年になったと思います。今後は、目安箱の設置、行 事前のアンケート、委員会との連携を高めるなど、新し いことにたくさん挑戦していきたいと考えています。学 校をより良く、過ごしやすい環境にしていくためには、 生徒である私たちが変わる必要があります。校則を守り、 思いやりの気持ちがなければ学校を変えていくことが できないと思います。自分の芯をしっかり持ち、生徒自 らが学校を創っていく革命を起こしましょう。

<12/7 全校礼拝より>

旧约里書 創世記 1章 26~27節

神は言われた。「我々にかたどり、我々に似せて、人を 造ろう。そして海の魚、空の鳥、家畜、地の獣、地を這 うものすべてを支配させよう。」/神ば御自分にかたどっ て人を創造された。神にかたどって創造された。男と女

に創造された。

12月10日は世界人権宣言が採択された日で、世界人権デーです。そして12月4日~10日は人権週間となっています。

人権とは、「人間が、人間らしく生きてゆく権利」で、 私たちが人間らしく、自由に、幸せに生きてゆくことが できるための権利です。英語では Human Rights (複数 形)。この人権という概念は突然生まれたものではなく、 長い時間をかけ、多くの人々の努力によって守り育てら れてきたものです。

人権について4つの大切なポイントがあります。

- ・人権は、生まれながらの権利である。
- ・人種、国籍、性別、年齢、職業などを超えて、すべて の人に、等しく、与えられている。
- ・人権を侵害することは許されない。
- ・それぞれの権利に優劣はない。

世界人権宣言の第一条を詩人の谷川俊太郎さんが次のように訳しています。《第一条 わたしたちはみな、生まれながらにして自由です。ひとりひとりがかけがえのない人間であり、その値打ちも同じです。だからたがいによく考え、助け合わねばなりません》

人権思想のルーツの一つに、聖書の言葉があります。 それが今日お読みしたものです。私たちの社会にとって 大切な「人権」という概念が守り育まれてゆく過程にお いて、聖書は重要な役割を果たしてきました。人権の大 切なポイントとして、「生まれながらの権利である」こと、 「すべての人に、等しく与えられている」ことを述べま した。聖書を読んだ人々は、この生まれながらの権利は、 神が与えてくださっているものだ、と受け止めてきまし た。私たち人間がそう考えた、というだけではなく、神 ご自身が与えてくださっているものだと受け止めてきた のです。だからこそ、私たちはその権利を互いに尊重し あってゆかねばならないのだ、と。

「神はご自分に似せて、ご自分のかたちに人を創造された」。つまり、それほどまでに、一人ひとりの人間は神

様の目から見て、すべての人が生まれながらに平等であ り、価値がある。古代の「人権宣言」とも言える記念す べき箇所なのです。(花巻教会牧師・鈴木道也先生)



INTERNATIONAL HUMAN RIGHTS



賞状伝達該当者(12月7日)

【英語檢定】 準2級 勝又紗里南 鳥居飛那

【岩手県高総文祭美術工芸展 絵画】入選 佐藤杏香 【柔道 全国高校選手権県予選】

女子 48 kg 3 位 山上愛華 男子の結果は前号に掲載

陸上部3年の大宮大虎くんが天皇盃第27回全国都道 府県対抗男子駅伝競走大会の岩手県選手団の選手として 選抜されました。大会は来年1月23日(日)に広島県 で開催されます。頑張ってください!

<アドラー流「あかさたな~」法則>

- 【あ】「ありがとう」は何度言っても良いこと
- 【い】「忙しい」と言う人は頼りにならないこと
- 【う】運を引き寄せるためには努力し続けること
- 【え】笑顔は最大の武器であること
- 【お】お礼はすぐにすること
- 【か】学生時代の友人を大切にすること
- 【き】今日から始めること
- 【く】苦しいときこそ諦めないこと
- 【け】健康を当たり前と思ってはいけないこと
- 【こ】心を鍛えるには体を鍛えること
- 【さ】最低限のお金がないと自信を失うこと
- 【し】叱られるのは10代の特権であること

- 【す】素直になること
- 【せ】成功談よりも失敗談から学ぶこと
- 【そ】外に目を向けること
- 【た】他人の意見は無責任であること
- 【ち】小さなことで大騒ぎしないこと
- 【つ】強がらなくて良いこと
- 【て】できないと言う人は必要ない人であること
- 【と】トラウマは存在しない
- 【な】涙を流すのは恥ずかしくないこと
- 【に】人間は弱いこと
- 【ぬ】抜かりなく準備すること
- 【ね】熱意があれば、人は動いてくれること
- 【の】残り時間を意識すること
- 【は】早く失敗して、早く改善すること
- 【ひ】一人で頑張るのには限界があること
- 【ふ】プライドなんて持っても意味がないこと
- 【へ】偏見に出会ったら断固として戦うこと
- 【ほ】本当にやりたいことに集中すること
- 【ま】迷ったらすぐにやってみること
- 【み】みんなという言葉に安心しないこと
- 【む】 群れずに「違い」を意識すること
- 【め】目上の人に甘えてもいいこと
- 【や】やり直すのに遅いことはないこと
- 【ゆ】勇気は体験から生まれること
- 【よ】余裕がないと人を傷つけること
- 【ら】ライバルがいたほうが良いこと
- 【り】リラックスを心がけること
- 【る】ルールを破っても良いこと
- 【れ】冷静になって考えること
- 【ろ】ロマンを忘れないこと
- 【わ】わかっているのとできるのは違うこと

アドラー曰く、「幸せの三要素は、自分自身が好きかど うか。よい人間関係を持っているかどうか。そして、人 や社会に貢献しているかどうか。」だそうです!

<今年の一冊・今年の一本>

今年は夏に東京オリンピック・パラリンピックがあっ たので、テレビ観戦にかなりの時間を費やした。その分 読書時間・量ともに激減してしまった。映画は相変わら ず足繋く通っている。今現在、69冊、76本の中から、 それぞれ厳選すると、まずは『ぼくはイエローでホワイ トで、ちょっとブルー2』がやはり良かった。これは昨 年度も紹介した本の続編であるが、1に劣らず読ませる。 成長していく息子(中学生)と母、たまに出てくる父(今 回は結構出番が多く、彼らの掛け合いも秀逸)との会話 を通して、選挙のことや、差別のことや、貧困問題など 例の「エンパシー」についても語られる。同じ筆者の『他 者の靴を履く』も読んだが、こちらは少し堅めの本では あるが、色々勉強になった。筆者のブレイディみかこは、 1996年からイギリス・ブライトンに在住、イギリスで保 育士資格を取得し、働きながらライター活動をしている。 「相手へのリスペクトを意識すれば、もう少し生きやす い世の中になるのかもしれない。」これが一番感じたこと。 映画を1本に絞るのは至難の業だが、高校生のみんな に観てほしいのは、『ディア・エヴァン・ハンセン』だ。 厳密に言えばベスト 10 圏外ではあるが、まさに今観る 【も】目的がない行動は無駄である。

「感涙ミュージカルが映画化」べき映画だと思う。ブロードウェイ・ミュージカルの映 画化であるが、なんと題材がSNSなのである。ある出

> していく。ミュージカルといえブレイディみかこ ば娯楽作品のような印象を与え る(私は大好きなジャンル)が、 かなり考えさせられる作品だ。 特にも SNS の投稿によって人 生が一変してしまう展開に恐ろ しさまで感じてしまう。

どちらも高校生には必読・必 見です。是非とも皆さんの感想 を聞かせてほしいものです。

